

# 東京国立 博物館 ニュース

第684号  
展示と催し物  
案内

2-3 ○ 特別展 足利義満六百年御忌記念「京都五山 禅の文化」展

4 ○ 特別展「大徳川展」

5-9 ○ 平常展見どころ案内2007年8月・9月

行書虹巣詩巻／特集陳列「東洋の名品一唐物」／

「敦煌出土裂Ⅱ 敦煌出土の描絵」／

「キリシタン—信仰とその証—」／「描くやきもの—奔放なる鉄絵の世界」／

国宝 和歌体十種／仮名消息(延喜式紙背)／見返り美人図

10-11 ○ 特集陳列「仏像の道—インドから日本へ」

親と子のギャラリー「博物館のおもちゃ箱」

12-13 ○ ようこそ! 博物館の舞台裏へ

「東京国立博物館ニュース」の創刊時をふりかえる

14 ○ INFORMATION

15 ○ TOPICS

16 ○ 2007年8月・9月の展示・催し物

2007

89

月号



第5章

⑦ 大画面 迫力の仏画と  
さまざまな仏像

禅宗寺院の仏画や仏像はあまり知られていませんが、独特です。なじみがないから違和感をおぼえると思いますが、それは中国風だからです。中世の人々にとってはそこが魅力でもありました。



◎達磨蝦蟇鉄楞図のうち達磨図  
吉山明兆筆 室町時代・15世紀  
京都・東福寺蔵 8/19まで展示



◎五百羅漢図のうち 吉山明兆筆 南北朝時代・  
至徳3年(1383) 京都・東福寺蔵 8/21から展示



韋駄天立像  
鎌倉時代・14世紀  
山口・功山寺蔵



伽藍神像  
(左:掌簿判官 右:監齋使者)  
鎌倉時代・13~14世紀  
京都・東福寺蔵



釈迦如来坐像および  
十大弟子立像のうち  
十大弟子  
鎌倉時代・13世紀  
京都・鹿王院蔵

第5章  
五山の仏画・仏像

第4章  
五山の学芸

⑤ 建立当初の金閣の鳳凰

金閣は昭和25年に焼失しましたが、  
鳳凰は取りはずされていて無事でした。



銅造鳳凰  
室町時代・14世紀  
京都・鹿苑寺蔵

第4章

⑥ 詩画軸

水墨の山水画などの上に多数の禅僧が漢詩を寄せ書したものを詩画軸と呼びます。山中に書齋を設けて静かに暮らすのが禅僧の憧れでした。実際にはなかなかかなわない夢でしたが、禅僧が集って漢詩を交わすことが頻繁に行なわれ、五山文学というジャンルを成すに至りました。

左◎竹斎讀書図 伝周文筆 文安4年(1447)  
竺雲等連序・江西龍派等五僧賛 室町時代・15世紀  
右◎柴門新月図 玉晩梵芳序・玉泉玄瑛等十七僧賛  
室町時代・応永12年(1405) 大阪・藤田美術館蔵  
8/19まで展示



# 京都五山 禅の文化展

特別展 足利義満六百年御忌記念

⑦ 7つのみどころ



◎癡兀大慧坐像  
鎌倉時代・14世紀  
愛媛・保国寺蔵

展覧会データ

足利義満六百年御忌記念  
「京都五山 禅の文化」展

7月31日(火)~9月9日(日)  
東京国立博物館  
平成館特別展示室第1室~第4室

主催:東京国立博物館 日本経済新聞社  
特別協力:大本山相国寺  
協賛:NEC JR東海 シティグループ  
日興コーディアルグループ  
観覧料:一般1,500円(1,300円/1,200円)  
高校・大学生900円(700円/600円)  
小・中学生無料  
※( )内は、前売り/20名以上の団体  
料金。障害者とその介護者1名は無料  
です。入館の際に、障害手帳などをご提示  
ください

## 記念講演会

- ①8月4日(土)「京都五山の歴史と文化」  
講師：東京国立博物館 出版企画室長 浅見龍介
  - ②8月25日(土)「禅の山河」  
講師：臨済宗相国寺派管長 有馬頼底師
- 開催時間：13:30～15:00  
会場：東京国立博物館・平成館大講堂  
事前申込制／聴講無料／各回380名  
(ただし、「京都五山 禅の文化」展の観覧券が必要です)  
\*申込方法：往復はがきの「往信用裏面」に希望日、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号を明記の上、下記までお申し込み下さい。  
\*申込締切：①7月18日(水) ②8月8日(水)必着  
\*申込先：〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-28-9 ヤマナシビル4F(ウイングダム内)「京都五山展」広報事務局 講演会係  
\*1枚のはがきで、1講演会につき1名のみ申し込み可  
\*応募多数の場合は、抽選の上、聴講券をお送りいたします

## お茶会

- 8月7日(火) 宗徧流
  - 8月8日(水) 表千家
  - 8月26日(日) 武者小路千家
  - 9月4日(火) 裏千家
  - 9月5日(水) 藪内流
  - 9月6日(木) 遠州流
- 開催時間：各日①11:00 ②12:00 ③13:00  
④14:00 ⑤15:00 ⑥16:00  
会場：東京国立博物館 平成館 小講堂  
事前申込制・先着順／各回定員30名／  
参加費：2,000円(1人1回限り、本展観覧料を含む)

## 坐禅会

- 8月3日(金)
  - 8月10日(金)
  - 8月17日(金)
  - 9月7日(金)
- 開催時間：各日①13:30 ②16:00 ③18:30  
会場：東京国立博物館 平成館 小講堂  
事前申込制・先着順／各回定員40名／  
参加費：無料(1人1回限り、本展観覧券が必要)

## 【お茶会・坐禅会共通】

申込方法：往復はがきの「往信用裏面」に希望日、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号を明記の上、下記までお申し込み下さい。  
申込先：〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-28-9 ヤマナシビル4F(ウイングダム内)「京都五山展」広報事務局 イベント係  
\*1枚のはがきで、お茶会、坐禅会のいずれか1回につき2名まで申し込み可

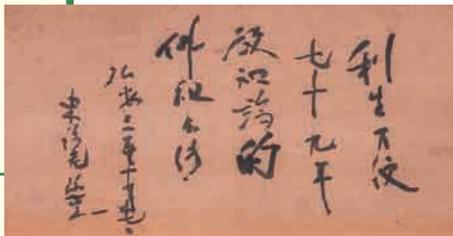
## 注目!!

今回展示する作品はお寺ではほとんど見る事ができません。  
\*作品を永く保存するため、絵画・書跡・袈裟は展示する期間が限られます。  
あらかじめご了承ください。

## 第1章

### ① 禅僧の肖像 絵と彫刻を比べてみる

1章と2章で、同じ禅僧の画像と彫像を合わせて5組展示します(前後期とも3組ずつ)。容貌には多少の誇張や虚構が加えられているかも知れません。どんな顔だったのか比べて想像してみてください。



◎円爾弁円墨蹟 遺傷 鎌倉時代・弘安3年(1280)  
京都・東福寺蔵 8/21から展示



◎清拙正澄墨蹟 遺傷 南北朝時代・暦応2年(1339)  
神奈川・常磐山文庫蔵 8/13まで展示

## 第2章

### ③ 師から弟子に渡された伝法衣

禅宗では師から弟子へ教を継承したあかしたに、衣を授けることがありました。これを伝法衣といいます。無極志玄と空谷明応の師弟の画像に描かれたのと同じ文様の袈裟が残っています。ちなみに袈裟は中国製が多く、いろいろな文様が織り込まれています。



無極志玄像(部分) 自賛  
南北朝時代・14世紀  
京都・慈濟院蔵  
8/21から展示



空谷明応像(部分) 自賛  
南北朝～室町時代・14世紀  
京都・慈濟院蔵  
8/21から展示

九条袈裟 無極志玄所用  
元時代・13～14世紀  
京都・慈濟院蔵 8/28から展示

九条袈裟の部分



◎無開普門像(部分)  
平田慈均賛 南北朝時代・14世紀  
京都・南禅寺蔵 8/19まで展示



◎無開普門坐像(部分)  
鎌倉時代・13世紀  
京都・龍吟庵蔵



◎寂元大慧像(部分)  
自賛 鎌倉時代・14世紀  
京都・顯成寺蔵 8/21から展示



◎寂元大慧坐像(部分)  
鎌倉時代・14世紀  
愛媛・保国寺蔵

### ② 禅僧が死の間際に書きのこした遺傷

墨蹟の名品もみどころのひとつですが、特に遺傷は最期の力を振りしぼって筆を揮った様子がゆがんだ文字に表われています。合わせて5点の遺傷を展示します(前後期とも2点ずつ。加えて第1・2週には清拙正澄の国宝の遺傷を展示)。

## 第1章 兼密禅から純粹禅へ

## 第2章 夢窓派の台頭

## 第3章 将軍家と五山僧

### ④ 足利将軍の肖像

教科書や歴史書でおなじみの足利義満、義持、義教の肖像を展示します。

上から

◎足利義満像(部分) 飛鳥鳥井雅親賛  
室町時代・15世紀 京都・鹿苑寺蔵  
8/28から展示

◎足利義持像(部分) 伝土佐行秀筆  
怡雲寂閑賛 室町時代・15世紀  
京都・神護寺蔵  
8/21から展示

◎足利義教像(部分) 瑞溪周鳳賛  
室町時代・15世紀  
愛知・妙興寺蔵 8/19まで

足利義満坐像(部分)  
室町時代・15～16世紀 京都・持持院蔵

## 第3章

# 大徳川展

DAI TOKU GAWA TEN



このたび当館では、徳川将軍家、尾張・紀伊・水戸の徳川御三家、さらに久能山・日光・紀州の東照宮などに伝えられた宝物を一堂にご覧いただく「大徳川展」を開催いたします。

徳川家康が征夷大将軍に任じられた慶長八年（一六〇三）から二百六十年間の江戸時代、諸大名の頂点に位置した徳川家は、武家の棟梁にふさわしい文化・伝統を築きました。

この展覧会では「將軍の威光」「格式の美」「姫君のみやび」という三つのテーマ構成で紹介いたします。

「將軍の威光」では、武將の象徴



である武器・武具、家康が日常用いた遺愛の品々、神格化された東照大権現御影、さらに朝廷や諸外国との交流を伝える資料によって將軍の権威・権力を紹介します。「格式の美」では、名物茶道具や豪華な能装束、絵画・書跡の名品等、武家の美意識を代表する作品をご紹介します。天下一とも称えられた大名物の茶入「初花」と「新田」が初めて同時に公開され、また

2

王朝絵画の至宝「源氏物語絵巻」も必見です。「姫君のみやび」では、「初音蒔絵調度」に代表される華麗な婚礼調度と絢爛たる衣装をお楽しみください。武家文化の粋を集めた二百点余を、この機会にぜひご覧ください。（富坂賢）



1

## 展覧会データ

### 大徳川展

10月10日(水)～12月2日(日) 東京国立博物館 平成館特別展示室第1室～第4室

主催：東京国立博物館、財団法人徳川記念財団、財団法人徳川黎明会、財団法人水府明徳会、テレビ朝日、朝日新聞社、博報堂DYメディアパートナーズ  
観覧料：一般1,500円(1,300円/1,200円) 大学生1,200円(1,000円/800円) 高校生900円(700円/500円)

※( )内は前売り/20名以上の団体料金。障害者とその介護者1名は無料です。入館の際に、障害手帳などをご提示ください。

※前売券は、当館窓口のほか、JR東日本みどりの窓口、びゅうプラザ、電子チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、イープラス、JTB各支店などで発売中

お問い合わせ先：「大徳川展」主催事務局 03-3587-8070

オフィシャルサイト：<http://www.daitokugawa.com/>

※出品作品は会期中展示替があります。展示期間につきましては、「大徳川展」主催事務局までお問い合わせください。



4

- ① 白綾子地雲立涌菊折枝模様打掛 江戸時代・19世紀 東京・徳川記念財団蔵
- ② 漢作肩衝茶入 銘新田 中国 南宋時代・13世紀 茨城・徳川博物館蔵
- ③ 齒梁具足 徳川家康所用 安土桃山時代・16世紀 静岡・久能山東照宮博物館蔵
- ④ 源氏物語絵巻 東屋一 平安時代・12世紀 愛知・徳川美術館蔵

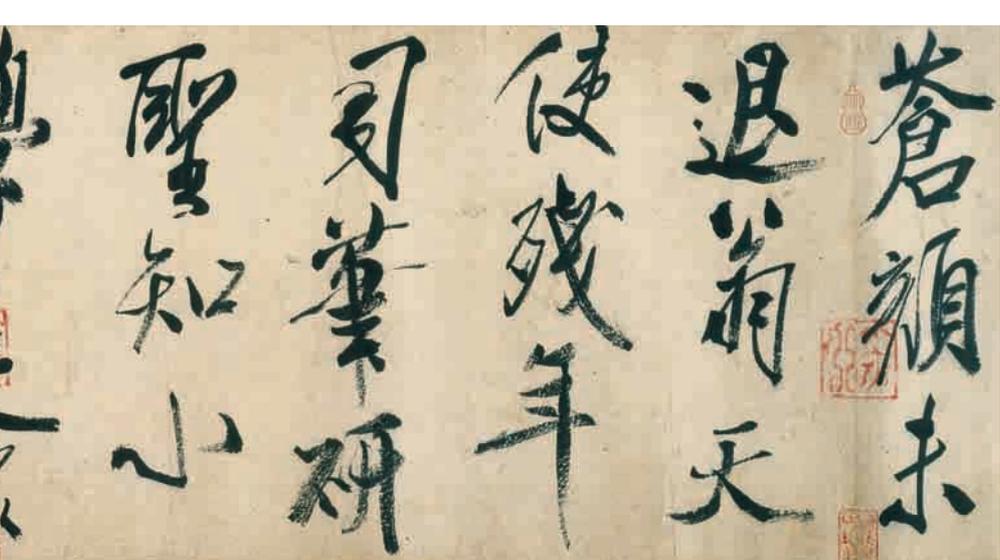
これだけは  
見逃せない!  
おすすめの  
この1点

# 米芾最晩年の代表作 行書虹県詩卷

9月4日(火)～10月28日(日) 東洋館第8室  
特集陳列「中国書画精華」より

北宋時代に妙腕をふるった三人の能書のうち、蘇軾と黄庭堅は高級官吏登用試験である科挙の試験に及第し、政治家として活躍する一方、文学者としても卓越した業績を残しました。全人的な教養を備えた彼らは、書においても伝統的な流れにとらわれることなく、きわめて個性的な書風を創出した書人として知られています。これに対し、裕福な家柄に生まれた米芾は、早くから科挙の試験を断念したかのような観があります。肉親の勲功により科挙の試験に応じることなく、秘書省校書郎という地位を与えられ、地方官を歴任した米芾でしたが、彼はむしろ官途を歩み、名利を求めることには興味を示さず、翰墨の世界に身を処し、時代の書画の名品に囲まれながら、美の探究に生涯をかけた生粋の芸術家だったと言うことができます。書画家、鑑定家としての彼の名声は早くから世に知られ、徽宗皇帝は彼のために、宮中に所蔵される書画の名品を鑑定する役職を、新たに設置したほどでした。

大ほどの大きな字粒で揮毫した書卷です。隋の煬帝が開いた汴河の兩岸には、後世の人々に隋堤と称された堤が築かれ、そこに枝垂れる楊柳の情景は、古くから多くの詩人に謳われてきました。米芾は、幾たびもこの汴河を船で往来しています。王羲之の快雪時晴帖や王献之の中秋帖、あるいは晋賢十三帖など、数々の名品の収集家として知られる米芾は、所蔵の書画を船に持ち込み、自ら宝晋齋という看板を船上に掲げ、さながら移動する私設ギャラリーのような環境の中で、船旅を楽しんでいました。米家の書画船と称されたこの船は、当時から世人の耳目を集めていたようです。



行書虹県詩卷(部分) 米芾筆 北宋時代・崇寧5年(1106)頃  
米芾の歿年には諸説があるが、歿する1～2年前の作と考えられる

(富田淳)

# 注目の 特集

本館 特別1室 企画展示

## 東山御物最高の品格をもつ優品 特集陳列 「東洋の名品―唐物」

9月11日(火)～10月8日(月・祝)

鎌倉時代以降、日本には中国から禅宗とともに多くの書画器物が舶載されました。それらの作品はやがて日本人固有の美意識に基づいて鑑賞されるようになり、唐物として書院の座敷飾や茶の湯の道具として用いられてきました。特に足利義満の藏品を中心とする足利將軍家伝来のものは、東山御物として珍重されました。今春、当館の梁楷の出山釈迦図

と雪景山水図が、東山御物の最高の品格をもつ三幅対として国宝に指定されました。これを記念して、「東洋の美―唐物」を開催いたします。国宝の夏景山水図(久遠寺蔵)、国宝の青磁「下蕪瓶(アルカンシエール美術財団)、重文の猿図(伝毛松)、重文の青磁茶碗(銘 馬蝗絆)などの唐物の名品を心ゆくまでお楽しみください。

(湊信幸)



左から●雪景山水図 梁楷筆(南宋時代・13世紀)、●出山釈迦図 梁楷筆(南宋時代・13世紀)、●雪景山水図 伝梁楷筆(南宋～元時代・13～14世紀)。東山御物の最優品として国宝に指定された梁楷の三幅対

東洋館第5室 中国染織

近年ほとんど公開されたことのない染織品

## 特集陳列 「敦煌出土裂口 敦煌出土の描絵」

8月28日(火)～11月18日(日)

敦煌出土裂口は、大谷光瑞の中央アジア探検でもたらされたものの一部です。残欠になつてしまっているものが多いなかで、幡など形を推測できるものも遺つており貴重です。とりわけ裂口の種類の豊富で、同時代の正倉院などの染織品同様、夾縵をはじめ描絵、綾、錦、綴織、刺繍等さまざまな技法がみられます。「敦煌出土裂口」では幡関係の作品を展示しましたが、



淡縵地唐草文描絵綾 唐時代・8～9世紀  
一気に描いたような迫力ある筆致に注目

今回は描絵の作品を陳列いたします。描絵は筆のようものがあれば、顔料や染料を含ませて自由に描くことができるので、描き手の個性があらわれます。平絹や綾に唐草風の文様を流麗に描いたものや、身近に咲いているようなかわいらしい草花文をあらわした幡足の残欠も含まれています。

あらわした幡足の残欠も含まれています。

(澤田むつ代)

東洋館第10室 朝鮮考古・美術

高麗青磁の魅力に迫る

## 特集陳列 「高麗翡色青磁の誕生」

9月4日(火)～12月2日(日)

朝鮮半島では、高度の土器焼成技術の基盤のうえに、中国浙江省の越州窯から技術が伝えられ、十世紀頃に青磁の生産が始まったと考えられています。近年、窯址の発掘調査の進展により、窯の構造等が解明され、その影響関係が明らかになってきました。高麗青磁はしだいに中国の青磁の影響を離れ、独特の作風を完成させてゆきます。その特色は、透明感のある釉色、精緻な彫り文様など

にあらわれています。十世紀前半には「翡色青磁」とよばれる高い水準に到達し、中国から高麗を訪れた使者がその美しさを絶賛した文献が残されています。高麗青磁の誕生から成熟へといたる過程の作品を中心に、高麗青磁の魅力に迫ります。

(今井敦)



青磁碗 高麗時代・10世紀  
技術は未熟ながら、中国の青磁を忠実に模倣しています

キリシタン関係遺品

特集陳列 「キリシタン—信仰とその証—」

8月21日(火)～9月30日(日)

天文十八年(一五四九)八月に日本に伝わったキリスト教は、天下を統一した織田信長のもとで興隆期を迎えました。しかし、豊臣秀吉、徳川家康の禁教政策によってその信仰は困難を極め、島原の乱を機に、さらに信者への迫害が強化され、踏絵などによる摘発もさかに行なわれました。一定の信仰の自由が認められたのは、明治六年(二八七三)新政府が欧米の圧力でキリシタン禁制の

高札を撤廃したときです。今回は、日本におけるキリスト教の布教とその受容の歴史を、キリシタン関係遺品などによって紹介します。シドッチ将来の『聖母像』(親指のマリア)や『天正遣欧使節記』、踏絵をはじめ、長崎奉行所による没収品であるロザリオ、十字架などの遺品を展示いたします。(高橋裕次)



◎聖母像(親指のマリア) イタリア・17世紀後半  
1708年、屋久島に潜入したイタリア人宣教師シドッチが所持していた聖母像で、頬をつたう涙と、袖口からみせた親指がとくに印象的である

大胆で生気に富んだ筆彩

特集陳列 「描くやきもの—奔放なる鉄絵の世界」

9月26日(水)～12月16日(日)



鉄絵とは鉄分を含む顔料を用いて筆彩で文様をあらわす技法をいいます。入手しやすい身近な材料を用いた鉄砂草花文瓶(朝鮮時代・17世紀) 大胆に省略された文様は、まるでモダン・アートのよう

ることから、長い歴史があり、最も普遍的な絵付け技法として広く行われました。鉄絵は中国のほか、朝鮮、ベトナム、タイ、そして日本でも行われました。朝鮮では鉄砂、日本では銹絵ともよばれ、絵志野や織部も一種の鉄絵ということができます。青花(染付)のような細密な描写はみられないものの、民窯らしいユーモラスな表現や、量産品ゆえの勢いのあたる筆づかいには、独特の魅力があります。陶磁史の底流に脈々と受け継がれ、大胆で生気に富んだ絵付けに特色がある東洋の鉄絵を、時代、地域の枠を超えて概観いたします。(今井敦)

「歴史を伝える」シリーズ

特集陳列 「博物図譜—

ものの真の姿を探る—」

7月3日(火)～8月26日(日)

東京国立博物館が所蔵する博物図譜の多くは、明治初年に博物局の田中芳男を中心とする天産部によって、収集あるいは作成・編集されたものです。田中らは江戸時代の図譜に、博物局の画家たちの図を加えて、博物館図譜を編集し、その成果は出版によって、西洋の学問の普及に役立ちました。その後、天産部は廃止され、博物図譜などの資料は帝室博物館歴史部に引継がれています。

今回は、図譜を編集した堀田正敦、木村兼葭堂や、画家の高橋由一、関根雲停、中島仰山、服部雪斎らにスポットをあて、動植物などの真の姿が生きたと描かれた博物図譜をご覧ください。また、田中芳男が収集し、博物館に寄贈した蝙蝠の玩具などの作品を展示します。(高橋裕次)



くじら・まんぼう・ないらぎ 江戸時代・18世紀  
たくさんの鯨、イルカとともに、鯨、シャチ、エイ、まんぼう、ないらぎ(かじまぐろ)など計36頭が泳いでいる様子を描く



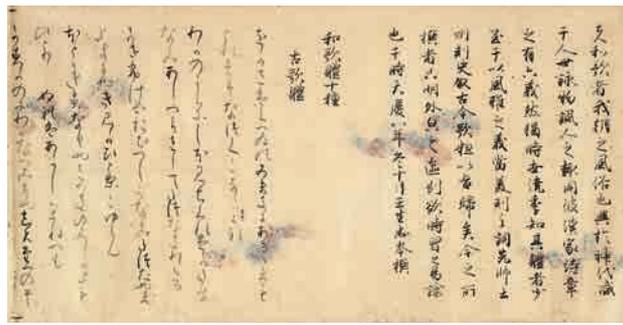
本館2室 国宝室

### かなの華 国宝 和歌体十種

7月31日(火)～9月9日(日)

「和歌体十種」は、「古今和歌集」撰者の一人である壬生忠岑を作者に仮託した歌論で、十一世紀初頭に成立したと考えられています。これは、十一世紀半ばの、いわゆるかなの開花の時期に書写された良質な写本で、筆跡の優美さが見どころの一つです。巻

末の奥書をみると、慶安五年(一六五二)に古筆了佐が藤原忠家(一〇三三～九二)の筆跡と鑑定しています。現在その確証はなく筆者は不明ですが、書写年代については今日の研究とほぼ合致しており、了佐の目の深さも見過ごせません。  
(丸山猶計)



●和歌体十種(部分) 平安時代・11世紀  
藍や紫の繊維を漉き込んだ「飛雲」。大ぶりで悠々としたさまが特徴的です

本館3室 宮廷の美術

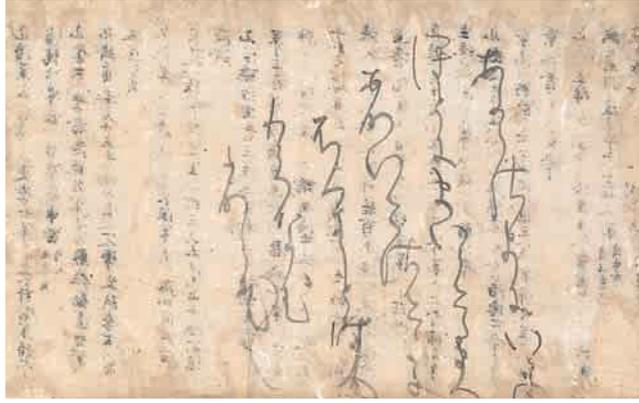
### 紙背の貴重な典籍の おかげで伝世した消息

### 仮名消息(延喜式紙背)

伝西行筆

8月7日(火)～9月17日(月・祝)

この仮名消息は、もと「延喜式」の巻二十の紙背にあつたものです。背面に見えるのが「延喜式」の本文で、東京国立博物館蔵の該当部分と一致します。ほかに、「延喜式」紙背の仮名消息は、巻第四(二通)・第二十一(一通)・第三十一(二通)の三巻に所収される五通が知られています。「延喜式」巻二十には、長元三年(一〇三〇)の年号を持つ紙背文書(上野国交替実録帳)があり、この仮名消息も長元年間をあまり隔たらない時代に書写さ



仮名消息(延喜式紙背)  
伝西行筆  
平安時代・11世紀  
個人蔵

れたものと考えられます。のびやかで流麗な連綿が数文字にわたって続きます。時代的に、相前後する「高野切」などの調度手本とは異なり、おおらかにそして気軽に筆を運んでいます。用の美ともいえる美しい仮名で、仮名の発生から展開を考える上でも貴重な遺品です。  
手紙は当事者同士が理解できれば事足りるものであるのです。本来、用が済めば廃棄される運命ですが、これらの仮名消息は、紙が貴重な時代であったことから再利用されました。その紙背に「延喜式」という貴重な典籍を書写したものであったために残ったもので  
(鳥谷弘幸)

本館7室 屏風と襖絵

### 光源氏とかつての恋人の再会を描く 重文 関屋図屏風

伝俵屋宗達筆 鳥丸光広賛

7月18日(水)～8月26日(日)

『源氏物語』の「関屋」の一場面。光源氏が石山詣の途中、逢坂の関でかつての恋人空蟬の一行と出会う場面を止めて待つ空蟬の一行を描いています。背景を一切省いた金地の奥深い空間に、源氏の牛車と従者たちの華麗な行列を想像してみてください。図上に公卿の鳥丸光広が物語の一節と自詠歌を書きつけていて、それによって、「関屋」の絵画化であることがわかります。  
(松原茂)



●関屋図屏風 伝俵屋宗達筆 鳥丸光広賛 江戸時代・17世紀  
背景を省略することにより、従者たちのさまざまな姿態や表情、全体の構成のおもしろさを引き立たせています

本館8室 書画の展開

### 初々しい貴公子のポートルート 牛若丸図 狩野探幽筆

7月18日(水)～8月26日(日)

牛若丸図(部分) 狩野探幽筆  
江戸時代・17世紀 個人蔵



源義経の少年時代の姿を描いたとされるもので、徳川將軍家に伝わったといわれています。力強く両足で立ち、左掌をかつと広げた所作などから、位の高い武家が実際に演じた能などを演じた姿を写しつたものとみて、演劇の舞台での姿をもとにした絵ではないかとも考えられています。髪は瑞々しい質感など息づかいを感じられるほどの生々しい表情や、鎧、袴などの衣服の際立つて入念な描き込みをみると、特定の人物の肖像画として、この絵をみることもできるかもしれません。  
(松嶋雅人)

本館10室 浮世絵と衣装

### 浮世絵の祖の代表作

## 見返り美人図

菱川師宣筆

8月28日(火)～9月24日(月・休)

見返り美人図(部分) 菱川師宣筆  
江戸時代・17世紀



十七世紀後半、急速な経済発展を背景として上方に拮抗する文化を形作るうとしていた江戸。そこに生きる人々の暮らしと文化意識を映し出した絵画が描かれるようになりまし。美しく着飾った女性の姿が人の目を引き、その姿を色鮮やかに描いて床の間に飾る。浮世絵美人図は、現実に生きる人の姿を鑑賞の対象とすることで生まれました。この時に立ち会い、人々の嗜好を絵画化していった菱川師宣が描く江戸の美人は、大いに人気を集め、浮世絵の祖と賞されることになりました。その代表作とされる一人立ち美人図がこの作品です。(田沢裕寛)

本館11室 彫刻

### 檀像の名品

## 重文十一面観音

### 菩薩立像

9月19日(水)～12月16日(日)



頭上面から足元まで白檀の一本から彫り出し、装身具を細かに表わす典型的な檀像です。中国の唐時代初期はインド的な表現が流行しました

◎十一面観音菩薩立像 唐時代・7世紀

が、この像の大きな上臉や高くして先のとがった鼻は、インドのグプタ朝の仏像の表現に通じます。このインド的表現は、玄奘三蔵などがインドから持ち帰った仏像の影響と考えられます。玄奘が新たに漢訳した經典には、十一面観音菩薩は白檀で一尺三寸の大きさに造り、手には数珠を掛けて施無畏手とせよとありますが、この像はまさにそれに一致します。(丸山士郎)

東洋館第3室 南アジアの美術と考古

### 勇壮な神

## ゴーヴァルダナ山を

## 持ち上げるクリシュナ

8月28日(火)～11月18日(日)

クリシュナはヒンドゥー教の三大神の一人であるヴィシヌの八番目の化身です。青い肌のクリシュナは、池に生えた蓮の上で、左足をあげ、身をくねらせて踊っています。右手には得意の楽器フルート、左手に持っているのはゴーヴァルダナという名前の山で、ピンク色の大地に樹木や家が描かれています。

ゴーヴァルダナ山を持ち上げるクリシュナ  
ビカネール派 18世紀後半



クリシュナが雨の神をまつる牛飼いたちに対して、牛を養う山への信仰を勧めたため、雨の神インドラは怒って大雨を降らせました。しかし、クリシュナは何とゴーヴァルダナ山をもちあげて7日の間、左手の小指一本でそれを支え、人々はその下に隠れて難を逃れました。(小泉恵英)

本特集では、この作品の他、インド各地の細密画を前後期20点ずつ計40点展示します(展示替は10月9日)。本作品は後期に展示の予定

平成館考古展示室

### 中国に做った瓶の形

## 褐釉印花文瓶

12月2日(日)まで

中世の武家社会では、中国から輸入された白磁の梅瓶・水注・四耳壺が珍重され、それらをまねた陶器が瀬戸で盛んに作られました。この作品は古瀬戸の梅瓶の優品で、梅瓶とは、肩の張った細長い胴部に小さめの口をつけた器のことです。愛宕神社境内からは、ほかに骨壺として使用された古瀬戸の黄釉四耳壺・梅瓶、常滑の壺な



褐釉印花文瓶 栃木県小山市上石塚愛宕神社境内出土 鎌倉時代・14世紀  
胴上半部に菊花文と蕨手文を描き、全体に褐釉が厚くかかる古瀬戸の優品。骨壺として使用された

どが十個ほど出土しました。さらにいっしょに同時期の板碑が二十枚出土し、そのうち十枚を企画展示室で10月28日(日)まで展示しておりますので、あわせてご覧ください。(望月幹夫)

法隆寺宝物館第4室 木・漆工

### 沈香による寄せ木細工の経箱

## 国宝 木画経箱

9月4日(火)～10月28日(日)

な手法の箱が伝わっています。天保十三年の御宝物図会には「用明天皇御宸筆外題皇太子御手ノ皮ニテ張玉フ箱沈香寄セ木」とあり、法華経八巻を納めていたと伝えられています。(原田一敏)

木画とは、いろいろな種類の木を嵌めて文様を表わす寄木細工のような技法で、木それぞれのもつ色や肌合いで色彩的な変化を出すことができます。この箱は被印籠蓋造りで、広葉樹を素地に用い、象牙、黒檀、象牙を細く切った線で三重に斜格子と三角をつくり、その間に菱形や三角に切った沈香を貼っています。木画は日本では奈良時代から平安時代にかけて行なわれており、正倉院宝物には亀甲繫文を金線につくり、その間に沈香を貼り込んだ、これと同じよう



◎木画経箱 奈良時代・8世紀

本館特別5室 三体の半跏思惟像

# 仏像の道

—インドから日本へ

7月27日(金)より公開

## 特集「仏像の道」

インドから日本

へは、古代インドに生まれた仏教の信仰の中で生み出された仏像が、仏教の伝播とともに各地へ広がり、それぞれの地域・時代の中で、仏教とともにどのように受け入れられていったのか、を示そうという試みです。

本展示では、形の変化をなるべくわかりやすく示すために如来像を多く集めました。数点の菩薩像も含まれます。このうち足を組んで坐り、右手を頬に当てたいわゆる半跏思惟像とよばれる作品が三つあります。



2

実は、中国、朝鮮半島、日本において、この魅力的な半跏思惟像が何の像であったのかということはまだはっきりとわかっていません。青年時代の釈迦、弥勒菩薩、観音菩薩などさまざまです。この特徴ある姿の三体の像を見比べながら、古代の人々が各々の像へ向けた信仰の形にも想像をめぐらせてみてください。(小泉恵英)



3



1

- 1 石造菩薩半跏像  
中国 北齊時代・6世紀
- 2 銅造半跏思惟像  
朝鮮 三国時代・7世紀
- 3 銅造菩薩半跏像  
日本 那智経塚出土  
飛鳥時代・7世紀

# 親と子のギャラリー「博物館のおもちゃ箱」

本館14室 工芸 7月3日(火)〜9月24日(日・休)



夏休み恒例の「親と子のギャラリー」を開催します。今年も、当館所蔵の「おもちゃ」や「ゲーム」など遊びに関連する作品を集めてみました。



ばけ物大せり合すご六 江戸時代・17世紀  
8/14(火)から展示 江戸の妖怪大集合の双六。表慶館「みどりのライオン」では、この双六を含め3種類の双六の複製で遊べます

## 奈

良時代から江戸時代までの遊び道具を集めた特集展示です。

古くは、聖徳太子が遊んだと伝えられる水晶のお手玉から、優雅な貝合せ、江戸の庶民の知恵がいつぱい詰まったかるたや双六まで、さまざまなおもちゃを展示します。

ぜひご覧いただきたいのは、江戸時代の大龍や蛇の「自在置物」です。からだ自由自在に動いて、どんなポーズも思いのまま。精巧なつくりに驚きます。いずれも、今のおもちゃやゲームとはずいぶん違っています。おもちゃは、文化を写す鏡です。おもちゃを通して、人々の暮らしや時代の感性を感じてください。

いつほう、遊ぶ楽しさは今も昔もきつと同じ。そこで、表慶館「みどりのライオン」体験の間には、本館で展示されたおもちゃの体験コーナー「昔のゲームを楽しまう」を設けました。展示作品のレブリカを使って聖徳太子のお手玉体験、双六遊び、カルタ作りなどにも挑戦してください。

8月10日(金)、17日(金)の夜間開館時には大人のためのイブニング・ワークショップで、貝合せ作りも楽しんでいただけます。このほか、体験の間では、遊びながら東博構内を周れるオリジナル東博すごろくを配布します(各日先着50名)。裏面は、展示作品のなかから絵双六「甲冑着用備双六」の複製になっています。

昔のおもちゃとその時代について、楽しい発見や出会いをお楽しみください。(小林牧)





◆イブニングレクチャー、トーク&ツアーで板碑を知ろう!

10月28日(日)まで、平成館1階企画展示室にて特集陳列「板碑—中世の供養塔—」を開催中です。この特集陳列に関連して、専門家による座談会および、台東区との連携による谷中周辺の寺の板碑をめぐる「トーク&ツアー」を開催いたします。この機会に、知られざる板碑の魅力をお楽しみください。

イブニングレクチャー「板碑の流通—考古学と岩石学で探る—」

特集陳列「板碑—中世の供養塔—」に関連して、専門家による座談会を開催します。

8月31日(金) 18:30~19:30  
表慶館みどりのライオン「対話の間」

講師：倉田恵津子(松戸市教育委員会)、柴田 徹(東海大学非常勤講師)  
定員：80名(事前申し込み制)  
聴講無料(ただし当日の入館料は必要)  
申込方法：往復はがき、FAX、電子メールで、郵便番号・住所・氏名・電話(FAX)番号を明記の上、下記までお申し込みください。  
\*1件で2名まで申し込み可能  
〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館 教育講座室「板碑レクチャー」係 edu@tnm.jp 03-3822-3010(FAX)  
締切：8月13日(月) 必着 定員を上回った場合は抽選

板碑三昧~トーク&ツアー(台東区との連携企画)

第1回 10月6日(土)、第2回 10月12日(金) \*両日とも同内容です  
13:30~ ギャラリートーク 講師：望月幹夫(上席研究員)  
平成館1階企画展示室 自由参加  
14:30~ ツアー(1時間半程度、台東区谷中周辺のお寺を中心にめぐります)  
講師：伊藤宏之(台東区文化財保護調査員) 事前申込制

ツアー定員：各回20名  
参加費無料(ただし当日の入館料は必要)  
申込方法：往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・氏名・電話・希望日、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記し下記へお申し込みください。  
〒111-8621 東京都台東区西浅草3-25-16 台東区生涯学習センター  
台東区教育委員会生涯学習課文化財担当「板碑三昧」係  
締切：9月21日(金) 必着 定員を上回った場合は抽選

◆ワークショップ「こどもたちのアートスタジオ」

表慶館みどりのライオン「創作の間」  
各日 13:30~15:30

事前申込制 参加費無料(ただし保護者の当日の入館料は必要)  
生涯学習ボランティアによるワークショップを開催します。

8月26日(日)「根付作り」  
本館展示室にある根付を見た後に、粘土を加工してオリジナル根付を作ってみよう  
10月14日(日)「勾玉作り」  
平成館考古展示室にある勾玉を見た後に、滑石を削ってオリジナル勾玉を作ってみよう  
対象：小学校3年生から高校生 ※保護者の方の見学も可能です  
定員：各日10名程度  
申込方法：往復はがきの「往信用裏面」に、希望コースと日程、郵便番号・住所・参加される方の氏名(ふりがな)、学年・電話番号・保護者が一緒の場合はその人数「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記し下記までお申込下さい。  
締切：「根付作り」8月13日(月) 必着、「勾玉作り」10月1日(月) 必着  
※締め切りの後、参加券をお送りします。なお、応募多数の場合は抽選とさせていただきます。  
申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館 ボランティア室

ハンズオン体験コーナー

「昔のゲームを楽しもう!」  
表慶館みどりのライオン「体験の間」 7月3日(火)~9月24日(月・休) 毎日11:00~16:00

- ①聖徳太子のお手玉 石名取玉 模型を使って昔のお手玉に挑戦!
- ②大流行で禁止令まで出た 双六盤 平安から江戸まで流行を繰り返したゲームの魅力を体験。
- ③江戸にタイムスリップ 絵双六 展示作品の複製を使って遊んでみよう。  
甲冑のつけ方がわかる「甲冑着用備双六」  
日本の妖怪大集合「ばけ物大せり合すご六」  
婦女子のたしなみを絵解き「諸芸寿古老久」
- ④優雅な遊び 投扇興 蝶の形をした的に扇を当てます。
- ⑤「東博かるた」コンクール 東博をテーマにしたオリジナル「東博かるた」を作ってみよう  
優秀な作品には「東博賞」として秋の特別展「大徳川展」(10月10日~12月2日)のチケット(10組20名)をさしあげます。

イブニング・ワークショップ

表慶館みどりのライオン「体験の間」  
8月10日(金)、8月17日(金) 17:00~20:00 当日自由参加

「オリジナル貝合せを作ってみよう」  
「博物館のおもちゃ箱」に展示されている貝合せをヒントに、オリジナル貝合せを作るワークショップ。ハマグリに殻にネイルエナメルなどを使って好きな絵付けをしましょう。



産蒔絵貝桶 江戸時代・18世紀



→◎石名取玉 奈良時代・8世紀  
聖徳太子ゆかりのおもちゃ。  
お手玉のようにして遊んだらいい。  
表慶館「みどりのライオン」では  
模型を使って古代の遊びを体験できます

自在籠置物 明珍宗察作  
江戸時代・正徳3年(1713)  
自由自在に動く「自在」。  
展示室ではどんなポーズをとっているか。見てのお楽しみ!  
ワークショップでは、自在をヒントに  
動くおもちゃをつくってみよう!



甲冑着用備双六 江戸時代・19世紀 8/13(月)まで展示  
まずはふんどしから……。甲冑の着け方がわかる双六





第17回

# 創刊六十周年!!

## 「東京国立博物館ニュース」の創刊時を ふりかえる

東京国立博物館の情報誌「東京国立博物館ニュース」。みなさまにご愛読いただいてちょうど六十年になります。今回は創刊六十周年を記念して「ニュース創刊の頃にさかのぼり、当時のようすをみることにいたしましたしょう。

東京国立博物館ニュースの創刊はいつですか。

「東京国立博物館ニュース」(The National Museum News)が創刊されたのは昭和二十二年(一九四七)年九月一日です。サンフランシスコ平和条約の調印(一九五一年九月)と翌年四月の発効によって、日本が主権を完全に回復する以前、まだ日本はGHQの占領下でした。二〇〇七年九月が創刊六十周年です。

その頃の東京国立博物館は

どのような状況だったのですか。  
昭和二十年三月十日、東京帝室博物館(当時)は一旦閉館。終戦後の昭和二十一年三月二十四日に開館、再開第一号の展覧会は「日本風俗展」でした。

再開から二ヵ月近くのちの五月中旬から「列品解説」が始まり、お客様来館者の好評を博しました。「列品解説」は現在でも継続していて、原則火曜日の午後二時から実施されています。スケジュールは本誌毎号十六ページをご覧ください。恒例の「月例講演会」が始まったのもこの頃です。

戦後の不自由な時代で、展示室も床に塗る油が足りなくてほこりに悩まされ、学生や児童の団体は、必ず履物の泥をぬぐって館に入るように注意してもらおうというふうであったそうです。

文部省管轄の博物館である「国立博物館」として正式に発足したのは昭和二十二年五月三日、日本国憲法施行の日です。ちなみに「恩賜京都博物館」が国立に移管されたことに伴って、「東京国立博物館」と改称されたのは昭和二十七年のことです。

創刊号はどのようなものだったのでしょうか。

タブロイド版モノクロ印刷で全四面。一面に掲載された写真は当時の世相をよくあらわしています。「GI.氏にも美術ファンは多い。若い日本のお嬢さんを東道役に、博物館の古美術鑑賞に一日を楽しむ将兵諸君の姿が、毎日のように見られる。写真「近代日本洋画展」会場でのスケッチ」。いかにも戦後の風俗という感じがします。発行の言葉をここに再掲いたします。

「現下の我国の国情にてらして、

国民のための博物館のはたすべき役割は極めて重要である。去る五月、帝室博物館、文部省国宝調査室の保存修理室、美術研究所等各美術関係機関を合併して、新発足した国立博物館は、従来の弊風を一掃して国民の文化高揚の一線をめざし各種の事業を企画しつつあるが、今回その事業の一端として「国立博物館ニュース」を毎月一同発刊する事とした。国民一般の古美術に関する関心は日と共に高まりつつあるが、過去の博物館の如く国民から遊離し、一部愛好家や研究家のためのみの博物館では、この関心と要望に応えることは出来がたい。博物館の毎月行なう陳列の予告、陳列品の解説、各種講演会の報告、学会の動向等を詳らかに収録し、ひろく一般国民の要求に応ずるならば、博物館と国民との間に精神的交流が達成せられるであろうと考え、この月報を発行するものである。古美術に関する国民の関心は最近地方に特に著しい、これ等愛好家は常時上京して博物館の陳列を展覧し、又美術史学

界の動向等中央美術の空気に触れる機会に乏しいにもかかわらず、常に

異常な関心をよせつつある。従って

何等かの方法により、この博物館を中心とする古美術界の動向を知りたいとの希望にこたえて、この月報による通信を企画したのが第二の理由である。この意味において「国立博物館ニュース」が紙上博物館として、その目的を達成し得れば幸いである」

また巻頭のエッセイ「国民と博物館 古美術品は見直されねばならない」も再読に価するでしょう。

「私共はこうした文化的遺産たる美術品を通して過去の日本の美的感情なり文化的生活を知らる以外に途がないとするならば、国民のために古美術品が如何に重要な役割をはたすかを再考する必要がある」 「名品を見ずして名品を語る事は出来ない。将来の日本国民は自分たちの祖先の残した名品の美しさについては、万人が知っていなければならぬ。またそれについて語るべき権利をもっている」組織の大きな力と見識を以って、全国の古美術を一堂に収集し、国民の前に、そのあるべき姿を展示することが博物館の大きな事業である」古美術品は二度と再び作り得ない唯一のものである。

今日の国民のためのものであると同時に明日のはたまた永遠の国民のためのものでなければならぬ。保存は博物館の最も重要な事業の一つである」そして「国民諸君もまた博物館を愛することをのぞんでやまない」と結ばれています。

現在の目でみると、ずいぶん硬い物言いでもまた大上段に構えているかの官庁出版物としてはかなり積極的に活発な提言ではないでしょうか。

博物館のあり方や使命に対する  
考え方は現在と同じですね。

「保存と公開」の重要性と、一部の愛好家だけではなく広く一般の方々の要求に応えたい、という今日までかわりなく博物館に受け継がれている想いが、ここに強くはつきりと述べられていたところが注目できます。そして「ニュース」こそがその重要な役割を果たすのであるという使命感が感じられます。

そのような考え方は当時の東博の  
どのようなところにみられますか。  
「国立博物館」という広く開かれた



博物館としての役割を具体化し、事業を円滑に行なうため、発足時に組織の改変が行なわれました。

事業課には団体係(各種団体に対する美術歴史の講演講座の開催・集會等を担当)、児童係(青少年に対する博物館の事業に関する教育、映画、幻灯等の催しを担当)、国際係(渉外関係の仕事、在日外国人に対し、美術歴史に関する研究、便宜を斡旋)などが新しく設けられています。このような事業は今日でも継続されています。また資料課には閲覧係(図書の出納、閲覧を担当)ができました。

### 草創期のニュースにはどんな記事が掲載されていたのでしょうか。

発刊の言葉にもあるように、主要な記事は平常陳列や特別展、講演会・講座などの館の主な事業の予告や解説などで、それは現在と同じです。が、さらに美術界の動きについての解説や地方の博物館・美術館の紹介などにも及んでいます。創刊号には「輸出工芸品の問題」(岡田謙)、「公生活と私生活」(安倍能成、当時の館長などの興味深いエッセイも掲載されています)。

読者の声欄、読書からの質問箱などもあります。たとえば、質問箱では、「曼茶羅とはどういうものですか。併せてその発生、日本への伝来、およびその絵画上の価値について教えてください」(平安朝の襲の色目・経緯・用いる年齢・吉凶などを詳しく知りたいと存じます。良い参考書がございましたらお知らせくださいま

せ)「弥生式土器の最初に発見されたのは、現在の何県何村でございませうか」という三つの質問があげられ、それぞれに回答をしています。

### 創刊号の定価はいくらだったのでしょうか。

一部二円五十銭です。当時は物資の不足などからたいへんなインフレ状況にあり、参考になるかどうかはわかりませんが、その年の郵便代金は封書が一円二十銭、はがきが五十銭という値段でした。国立博物館ニュースの定価も上昇し、五号で早くも三円に値上げ、十二号で五円、二十二号から十円になっています。タブロイド版最後の号である六四六号(平成十三年三月号)は一部八十円でした。

### いつから現在の形になったのですか。

創刊から六四六号(平成十三年四月号)まで、タブロイド版の月刊紙という形態は、半世紀以上にわたって継続されました。

二〇〇一年四月、東京国立博物館は独立行政法人になり、六四七号(平成十三年五六月号)から一般的な雑誌のサイズであるA4版に変更、隔月刊でオールカラー十六ページという現在のニュースの体裁になりました。定価は一部二百円。見た目も、内容も、発行形態も、創刊以来の最も大きな変化です。

二年後の六五八号(平成十五年五月六月号)で「国立博物館ニュース」から「東京国立博物館ニュース」と改称し、

このときから東博の専門誌になりました。

また何よりも無償でお読みいただけるようになったことが六五八号から一番変わったことでしょう。現在は三万部発行しています。

### 創刊号のほかに何か興味深い記事を紹介してください。

六月十七日まで当館では特別展「レオナルド・ダ・ヴィンチ―天才の実像」を開催し、イタリア・ウフィツィ美術館の至宝「受胎告知」を多くの方にご覧いただきました。

この展覧会と比較して話題になった三十年あまり前のレオナルドの「モナ・リザ展」を紹介する三二四号(昭和四十九年五月号)の記事をごらんください。会場の図面などを掲載することで、お客様にあらかじめ展示室の様子を知っていただき、できるだけスムーズに作品を見ていただくとしてあります。三二六号には展覧会終了の記事が掲載されていますが、入場者の最も多かったのは六月九日(最終前日の日曜日)で、六一、四六六人とあります。

そのほかには二二〇号(昭和四十八年九月号)のツタンカーメン展の記事もあげられるでしょうか。この展覧会もたいへんな話題を集めました。

### 現代は情報のあり方もさまざまです。

いま、東京国立博物館の事業についての情報が最もすばやく、そして最も詳しくわかるのは当館のホームページでしょう。また毎週月曜日に直

近の情報を送信するメールマガジンもあります。それぞれのメディアの適性をいかし、できるだけ多くの方に東博の情報を、利用しやすいかたちで伝えていかなければなりません。

新しいメディアの登場によって、当然、博物館ニュースに期待される役割もかわっていくことでしょう。しかしなが

ら、国立博物館ニュース創刊時の理想は、これからもずっと受け継がれていくに違いありません。(立道恵子)

※本稿は「東京国立博物館ニュース縮刷版」と「東京国立博物館百年史」(昭和四十八年)にもとづくものです



# INFORMATION

## コンサート開催のお知らせ

### ジェラルム・プーレ ヴァイオリンリサイタル

#東京芸術大学客員教授をつとめる、巨匠ジェラルム・プーレのヴァイオリンを #

日時 9月24日(月・休)  
開演 14:00 開場 13:30  
場所 東京国立博物館 平成館ラウンジ  
出演 ジェラルム・プーレ(ヴァイオリン)  
川島余理(ピアノ)  
主催 東京国立博物館  
協力 瀧井敬子(東京芸術大学演奏芸術センター客員教授)  
曲目 ベートーヴェン ヴァイオリン・ソナタ第9番イ長調作品47《クロイツェル》ほか  
料金 3,500円 全席自由  
※友の会・キャンパスメンバーズ割引 2,500円  
※コンサート料金で、当日の平常展をご観覧いただけます。

### ロシアの黄金デュオによる

### エレナ・イオーノワ&ワレリー・イスリヤイキン オペレッタ アリアコンサート

#紅葉よりひと足早く、上野の森に彩りを添えるオペレッタの名曲!! #

日時 9月30日(日)  
開演 15:00 開場 14:30  
場所 東京国立博物館 平成館ラウンジ  
出演 エレナ・イオーノワ(ソプラノ)  
ワレリー・イスリヤイキン(テノール)  
ユリア・レフ(ピアノ)  
主催 東京国立博物館 サロン・ド・ソネット  
曲目 ウィーンへ愛をこめて オペレッタ「マリツァ伯爵夫人」より(カールマン)ほか  
料金 5,000円 全席自由  
※友の会・キャンパスメンバーズ割引 3,500円  
※コンサート料金で、当日の平常展をご観覧いただけます。

### <チケットのお求め方法>

- 当館正門観覧券売場でのチケット販売  
受付 開館日の9時30分～閉館30分前(月曜休館)
- 電話予約販売  
申込先 東京国立博物館 イベント担当 TEL03-3821-9270  
受付時間 月曜日～金曜日の9時30分～7時00分(祝日は除く)  
引換時間 コンサート当日、当館正門観覧券売場にて現金引換にてお渡します。

### 中川昌三・赤木りえ JAZZ & LATIN LIVE

#2人のフルート奏者による無料コンサート! #

日時 8月18日(土)  
会場 東京国立博物館 平成館大講堂  
出演 中川昌三、赤木りえ  
参加費 無料(ただし入館料は必要)、事前予約不要 先着200名  
※当日会場にて整理券配布。

問い合わせ 東京国立博物館 渉外課イベント担当 03-3821-9270

主催 日本フルート協会、東京芸術大学音楽学部

協力 東京国立博物館

※各イベント詳細は、当館ホームページでご確認ください。

※お車のご来館はご遠慮ください。

### お盆期間中の開館のお知らせ

8月13日(月)～8月15日(水)は連日開館いたします。

### 平常展無料観覧日のお知らせ

9月17日(月・祝)敬老の日は平常展を無料でご覧いただけます。

### プレゼントのお知らせ

#### ◆「大徳川展」 チケットプレゼント

本誌4ページで紹介した「大徳川展」の招待券を抽選で10組20名様にプレゼントいたします。締め切りは8月10日(金)

#### ※プレゼントの応募方法

はがきに、住所、氏名(ふりがな)、男女、年齢、職業、この号でいちばんおもしろかった企画をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替

えさせていただきます。  
〒110-8712 台東区上野公園13-9 東京国立博物館  
広報室「ニュース8・9月号」プレゼント係

#### ◆お詫びと訂正

東京国立博物館ニュース第682号(2007年4/5月号)p.3「その他の主な作品の展示予定」は下記のとおり変更されます。お詫びして訂正申し上げます。

12月18日(火)～2008年4月6日(日)「◎青磁茶碗 銘馬蝗絆 中国・龍泉窯 南宋時代・13世紀 三井高次氏寄贈 本館4室」の展示が、「京都五山一禅の文化」九州会場(九州国立博物館 2008年1月1日(火・祝)～2月24日(日))に出品のため、「●青磁下蕪花入 中国・龍泉窯 南宋時代・13世紀 東京・アルカンジェール美術財団蔵」に変更。

## ◆東京国立博物館賛助会員募集のご案内

東京国立博物館では賛助会員制度を設け、当館を幅広くご支援いただいております。賛助会員よりいただいた会費は、文化財の購入・修理、調査研究・平常展・施設整備等の充実にあてております。どうか賛助会の趣旨にご理解ご賛同いただき、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効。賛助会員には、特別会員と維持会員との2種類があります。

### 年会費

特別会員 100万円以上

維持会員 法人 20万円

個人 5万円

### 特典

●特別展の内覧会にご招待

●東京国立博物館ニュースの送付

\*賛助会員のお申し込みは随時受け付けています。

\*お問い合わせ

東京国立博物館営業開発部 賛助会担当

TEL 03-3822-1111(代)

## 東京国立博物館賛助会員 2007年6月30日現在

### 特別会員

日本電設工業株式会社 様  
東京電力株式会社 様  
株式会社コア 様  
株式会社 精養軒 様  
毎日新聞社 様  
大日本印刷株式会社 様  
株式会社 大林組 東京本社 様  
朝日新聞社 様  
株式会社 ホテルオークラエンタープライズ 様  
株式会社 ミロク情報サービス 様  
TBS 様  
読売新聞東京本社 様  
三菱商事株式会社 様  
トヨタ輸送株式会社 様  
凸版印刷株式会社 様

### 維持会員

三菱電機ビルテクノサービス株式会社 様  
早乙女 節子 様  
株式会社 三冷社 様  
宇津野 和俊 様  
伊藤 信彦 様  
井上 萬里子 様  
京菓匠 鶴屋吉信 様  
株式会社 東京美術 様  
服部 禮次郎 様  
数内 匡人 様  
岩沢 重美 様  
高田 朝子 様  
齋藤 京子 様  
齋藤 邦裕 様  
株式会社 安井建築設計事務所 様  
株式会社 ナガホリ 様  
佐々木 芳絵 様  
藤原 紀男 様  
小田 昌夫 様  
吉岡 昌子 様  
松本建設株式会社 様

関谷 徳衛 様  
高橋 守 様  
小澤 桂一 様  
上久保のり子 様  
櫛田 良豊 様  
株式会社 スタイルカフェ・ドット・ネット 様  
長谷川 英樹 様  
池田 孝一 様  
木村 剛 様  
観世 あすか 様  
ココファニチャー株式会社 様  
星 瑩 由尚 様  
株式会社 鴻池組 東京本店 様  
株式会社 アクタス 様  
安田 敬輔 様  
久保 順子 様  
渡辺 章 様  
稲垣 哲行 様  
堀江 磨紀子 様  
帖佐 誠 様  
株式会社 古美術藪本 様  
飯岡 雄一 様  
高瀬 正樹 様  
坂井 俊彦 様  
寺浦 信之 様  
高木 美華子 様  
暁飯島工業株式会社 様  
山岡 コウ子 様  
古屋 光夫 様  
根田 穂美子 様  
松本 澄子 様  
鷲塚 泰光 様  
是常 博 様  
上野 孝一 様  
北山 喜立 様  
謙慎書道会 様  
社団法人 全国学校栄養士協議会 様  
山田 泰子 様  
原 桃介 様

近代書道研究所 様  
田村 久雄 様  
日本畜産興業株式会社 様  
株式会社秋華洞 様  
高橋 徹 様  
柴田 陸子 様  
絹村 安代 様  
高橋 良守 様  
岡田 博子 様  
臼井 生三 様  
津久井 秀郎 様  
藤倉 光夫 様  
神通 豊 様  
永久 幸範 様  
五十嵐 良和 様  
池田 慶子 様  
株式会社 東京書芸館 様  
青山 千代 様  
藤崎 英喜 様  
永田 実香 様  
西岡 康宏 様  
小川 徳男 様  
東野 治之 様  
辻 泰二 様  
竹下 佳宏 様  
松原 聡 様  
町田 昇 様  
シチズン時計株式会社 様  
野澤 智子 様  
有賀 浩治 様  
吉田 幸弘 様  
野崎 弘 様  
坂田 浩一 様  
池谷 正夫 様  
池谷 徳雄 様  
脇 素一郎 様  
秦 芳彦 様

(ほか42名3社、順不同)

## TOPICS

### 東京国立博物館ミュージアムショップ・リニューアルについて

この場所に開店して以来十余年が過ぎ、皆様に愛されご利用いただけてまいりました。本館地下一階のミュージアムショップが、この度新しく模様替えされて、七月三十一日にリニューアルオープンしました。



リニューアルにあたっては、東京国立博物館の親しみやすさと、世界に誇るべき日本美術の殿堂としての格調高さを、どのように店舗デザインに盛り込むかを検討してまいりました。

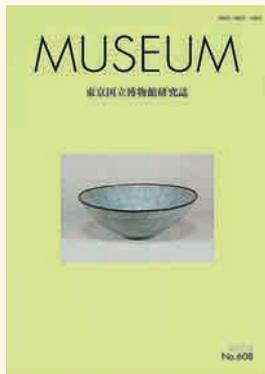
改装の基本的な考え方として、次のような事項に配慮いたしました。

今後も東京国立博物館ミュージアムショップを、どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

◆MUSEUM608号  
(平成19年6月15日発行)の掲載論文  
①「南宋官窯青磁再考—東京国立博物館所蔵重要文化財『青磁輪花鉢』の位置

- 1 東京国立博物館の「和」の雰囲気をお客様に伝える展示コーナー
- 2 明確な商品構成とし、より見やすく商品を選ぶことが出来る空間デザイン
- 3 お客様をお迎えするため、ショップの視認性を向上させるファサードを設置

- ②「滋賀・神照寺所蔵金銀鍍宝相華唐草文透彫華籠について」酒井元樹(当館平常展室研究員)
  - ③「竹内生司について」高尾曜(東京文化財研究所修復技術部研究補佐員)
  - ④「東京国立博物館「マオリ」楽園の神々」展に関する所感」深山直子(都立大学大学院博士課程)
  - ⑤「マオリ美術展の実現過程—国際交流展の一例として—」白井克也(当館教育講座室長)
- ※購読のお問い合わせは中央公論事業出版(TEL 03335351321)へ。



### ◆国立博物館の展示案内

〈京都国立博物館〉

特集陳列「後宇多法皇入山700年記念 大覚寺の名宝」8月8日(水)～9月17日(月・祝)

〈奈良国立博物館〉

親子のギャラリー「仏さまの彩り」7月14日(土)～8月19日(日)

特別陳列「文化庁購入文化財展 新たな国民のたから」7月14日(土)～8月19日(日)

特別展「美麗 院政期の絵画」9月1日(土)～9月30日(日)

〈九州国立博物館〉

文化庁海外展記念「日本のやきもの—選び抜かれた名宝120点—」7月7日(土)～8月26日(日)

親鸞聖人750回大遠忌記念「本願寺展 親鸞と仏教伝来の道」9月22日(土)～11月18日(日)

### 東京国立博物館友の会 & パスポート

◆友の会 年会費 1万円 発行日から1年間有効

特典 東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の平常展は何度でもご覧いただけます。特別展に関しては、観覧券を12枚配布。そのほか、本誌の定期郵送などさまざまな特典があります

◆パスポート 一般 4,000円 学生 2,500円

発行日から1年間有効

特典 東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の平常展は何度でも、お好きな6つの特別展を1回ずつ計6回までご覧いただけます

◆お申し込みは当館の窓口あるいは郵便振替で

#### 友の会

加入者名(振替先)東京国立博物館友の会

口座番号 00160-6-406616

\*振替用紙には職業・年齢・性別を楷書でご記入ください

#### パスポート

加入者名(振替先)東京国立博物館パスポート

口座番号00140-1-668060

\*振替用紙には申込区分(一般か学生)、学生の場合は学校名および学生証番号を楷書でご記入のうえ、生徒手帳か学生証のコピーを郵送またはFAXでお送りください

\*振替用紙の半券が領収書になります。会員証、パスポートチケットが届くまで保管しておいてください

\*振替手数料はおお客様の負担となります

\*郵便振替でのお申し込みには2週間かかります

#### ◆問い合わせ

TEL 03-3822-1111(代) 友の会・パスポート担当

FAX 03-3821-9680

### 東京国立博物館ニュース定期郵送のご案内

本誌の定期購読をご希望の方は、年間(6冊分)1,000円の送料・事務費のご負担でご自宅にお届けします

◆お申し込みは郵便振替で

加入者名(振替先)東京国立博物館ニュース

口座番号00100-2-388101

\*振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を楷書でご記入ください

\*振替用紙の半券が送料の領収書になります。1年間保管しておいてください

\*振替手数料はおお客様のご負担となります

\*次号より送付ご希望の場合、締切は7月10日です

### 東京国立博物館利用案内

開館時間 9:30～17:00、2007年4月から12月の特別展開催期間中の金曜日は20:00まで、2007年4月～9月の土・日・祝・休日は18:00まで(入館は閉館の30分前まで)

休館日 毎週月曜日(祝日、休日の場合は翌日)、年末年始(12月28日～1月1日)。ゴールデンウィークおよびお盆期間(8月13日～8月15日)は原則として無休

#### 平常展観覧料金

一般600(500)円、大学生400(300)円

\* ( )内は20名以上の団体料金

\*障害者とその介護者1名は無料です。入館の際に障害者手帳などをご提示ください

\*満70歳以上、および高校生以下の方の平常展観覧は無料です。入館の際に年齢のわかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証など)をご提示ください

\*講演会、ワークショップ、友の会・パスポートおよび本誌定期郵送等のお申し込みの際にご提供いただいた個人情報に関しては、当該の目的にのみ使用させていただきます。当館では個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします

1 WED	🌳 14:30
2 THU	👤 14:00
3 FRI	夜間開館(20:00まで) 列品解説「古代中国の貨幣」18:30 東洋館第4室 坐禅会 平成館小講堂*1 📌 15:00
4 SAT	時間延長(18:00まで) 記念講演会「京都五山の歴史と文化」13:30 平成館大講堂*1 📌 14:00 📌 15:00
5 SUN	時間延長(18:00まで) 📌 14:30 📌(勾玉)13:30
6 MON	休館日
7 TUE	列品解説「博物館のおもちゃ箱」14:00 表慶館対話の間 お茶会(宗偏流) 平成館小講堂*1
8 WED	お茶会(表千家) 平成館小講堂*1 📌 14:00 🌳 14:30
9 THU	📌 14:00 📌 14:00 📌 14:30
10 FRI	夜間開館(20:00まで) 坐禅会 平成館小講堂*1 📌 14:30
11 SAT	時間延長(18:00まで) 月例講演会「悲母観音」の生命誌13:30 平成館大講堂 📌 14:00 📌 14:30
12 SUN	時間延長(18:00まで) 📌 14:00
13 MON	
14 TUE	列品解説「敦煌出土の幡」14:00 東洋館第5室
15 WED	📌 14:00 🌳 14:30
16 THU	👤 14:00
17 FRI	夜間開館(20:00まで) 坐禅会 平成館小講堂*1 📌 15:00
18 SAT	時間延長(18:00まで) 中川昌三・赤木りえ JAZZ & LATIN LIVE 14:00 平成館大講堂*2 📌 14:00
19 SUN	時間延長(18:00まで) 📌 12:30,14:00 📌 14:00 📌 14:30
20 MON	休館日
21 TUE	列品解説「不動明王八大童子像」14:00 本館3室
22 WED	📌 14:00 🌳 14:30 📌 14:00
23 THU	📌 14:00 📌 14:30
24 FRI	夜間開館(20:00まで) 📌 14:30 📌 15:00
25 SAT	時間延長(18:00まで) 記念講演会「禅の山河」13:30 平成館大講堂*1 📌 14:00 📌 15:00
26 SUN	時間延長(18:00まで) お茶会(武者小路千家) 平成館小講堂*1 📌 14:00 📌 14:00 📌(根付)13:30
27 MON	休館日
28 TUE	列品解説「本館特別5室 展示の変遷「復興本館建設」から「仏像の道」まで」14:00 表慶館対話の間
29 WED	🌳 14:30
30 THU	👤 14:00
31 FRI	夜間開館(20:00まで) イブニングレクチャー「板碑の流通—考古学と岩石学で探る—」18:30 表慶館対話の間*3

- 👤 = ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所:本館1階エントランス
- 📌 = ボランティアによる浮世絵版画展示ガイド、集合場所:本館1階エントランス
- 📌 = ボランティアによる陶磁エリアガイド、集合場所:本館1階エントランス
- 📌 = ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所:本館1階エントランス
- 🌳 = ボランティアによる樹木ツアー、集合場所:表慶館エントランスホール
- 📌 = ボランティアによる考古展示室ガイド、場所:平成館考古展示室入口
- 📌 = ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、場所:法隆寺宝物館1階エントランス
- 📌 = ボランティアによる九条館茶会、集合場所:表慶館エントランスホール (参加費500円、定員30名、開始1時間前に集合場所で整理券配布)

1 SAT	時間延長(18:00まで) 🌳 13:30 📌 14:00
2 SUN	時間延長(18:00まで) 📌 14:30
3 MON	休館日
4 TUE	<b>ミニミニ模型</b> お茶会(裏千家) 平成館小講堂*1
5 WED	お茶会(藪内流) 平成館小講堂*1 📌 14:00 🌳 14:30
6 THU	お茶会(遠州流) 平成館小講堂*1 📌 14:00
7 FRI	夜間開館(20:00まで) 坐禅会 平成館小講堂*1 📌 15:00
8 SAT	時間延長(18:00まで) 📌 14:00 📌 14:30 📌 15:00
9 SUN	<b>京都五山 禅の文化</b> 時間延長(18:00まで) 📌 14:00
10 MON	休館日
11 TUE	列品解説「漢時代の明器—ミニチュア模型にみる2000年前の暮らし—」14:00 表慶館対話の間
12 WED	📌 14:00 🌳 14:30 📌 14:00
13 THU	📌 14:00 📌 14:00 📌 14:30
14 FRI	📌 14:30 📌 15:00
15 SAT	時間延長(18:00まで) 🌳 13:30 📌 14:00
16 SUN	時間延長(18:00まで) 📌 12:30,14:00 📌 14:00 📌 14:30
17 MON	時間延長(18:00まで) <b>無料観覧日</b>
18 TUE	休館日
19 WED	📌 14:00 🌳 14:30
20 THU	📌 14:00
21 FRI	📌 15:00
22 SAT	時間延長(18:00まで) 📌 14:00 📌 15:00
23 SUN	時間延長(18:00まで) 📌 14:00 📌 14:00
24 MON	<b>昔のゲームを楽しもう</b> 時間延長(18:00まで) ジェラール・ブルーヴァイオリンリサイタル 14:00 平成館ラウンジ*4
25 TUE	休館日
26 WED	🌳 14:30 📌 14:00
27 THU	📌 14:00 📌 14:30
28 FRI	📌 14:30 📌 15:00
29 SAT	時間延長(18:00まで) 月例講演会「美麗なる仏画—虚空蔵菩薩像」13:30 平成館大講堂 📌 14:00
30 SUN	時間延長(18:00まで) オペレッタ アリアコンサート15:00 平成館ラウンジ*4 📌 14:30

- 12/2まで
- 📌 = ボランティアによる応挙館茶会、集合場所:表慶館エントランスホール (参加費500円、定員30名、開始1時間前に集合場所で整理券配布)
  - 📌 = ボランティアによる庭園茶室ツアー、集合場所:表慶館エントランスホール (定員20名、開始30分前に集合場所で整理券配布)
  - 📌 = ボランティアによる英語ガイド(本館ハイライト)、集合場所:本館1階エントランス
  - 📌 = ボランティアによるこどもたちのアートスタジオ(勾玉づくりコース、事前予約制、申し込みは締め切りました)
  - 📌 = ボランティアによるこどもたちのアートスタジオ(根付づくりコース、事前予約制、詳細は11ページをご覧ください。抽選10名)
- \*1 事前申し込み制 詳細は本誌3ページをご覧ください  
 \*2 無料イベントです 詳細は14ページをご覧ください  
 \*3 事前申し込み制 詳細は11ページをご覧ください  
 \*4 有料イベントです 詳細は14ページをご覧ください  
 \*上記の予定は予告なく変更になることがあります。当日の予定はインフォメーションカウンターでご確認ください。  
 \*屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。